

美術科

1 学習の目的

作品の制作や鑑賞などの活動を通して、つくることの楽しさや喜びを味わい美術に親しみましょう。作品を作る時には、「こんな作品が作りたい」という気持ちを持って、積極的に取り組んでください。また、作品を鑑賞する時には、日本や外国など様々な美術文化にも興味を持って取り組みましょう。美術は、美しさを感じ取る心を育て、思い通りに表現する技能を身につけ、心を豊かにする教科です。

2 評価の方法

評価の観点		着目している点
項目	達成目標	
知識及び技能	美術作品の良さや美しさに気づき、味わうことが出来る。また日本や海外の芸術文化を理解することが出来る。道具の使い方や材料の特性を理解し、丁寧に、根気強く制作することが出来る。	道具の使い方、材料の工夫、完成作品、鑑賞活動への取り組み
思考力、判断力、表現力等	主題から豊かな発想を広げ、構想を深め、独自性のある感性を発揮することが出来る。美しく創造的に主題を表現することが出来る。	アイデアスケッチ、完成作品
学びに向かう力、人間性等	授業の約束を守り、計画性を持ってことができる。授業準備が出来ている。提出期限を守っている。	授業への参加態度、制作の計画と進度、クロッキー帳等の記入、出欠席、忘れ物の有無、提出物の状況

3 学習内容

1年生は色の学習やスケッチの方法などの基礎基本を学習します。2・3年生は発展的な題材をテーマとし、各学年平面作品と立体作品の制作を行います。

第1学年	学習月	第2学年	学習月	第3学年	学習月
レタリング	4月	立体作品	4月	切り絵	4月
色面構成	5月	風景画	7月	ペーパーウェイト	9月
美術館訪問	7月	自画像	9月	卒業制作	1月
陶芸	9月				
お菓子のパッケージデザイン	1月	本のポップデザイン	1月		

4 授業の約束

美術は授業が非常に少ない教科です。1年間で1年生は45時間、2・3年生は35時間しかありません。限られた授業時間に集中して、確実に課題をこなしていく力が求められます。また欠席したり、授業で遅れた分は、家庭で作業をして取り戻すなどの自主性も求められます。

○学校では

- ・その授業での活動内容をしっかり把握し、見通しを持って集中して活動すること
- ・人任せにせず、自分が表現したいテーマについてじっくり考えること
- ・表現したいテーマが決まったら、こだわりを持って、細かい所まで丁寧に制作すること

○求める生徒像

観点	生徒像	
知識及び技能	作品（道具の使い方、材料の工夫など）	自分が表現したいものに応じて、材料や用具の使い分けたり、効果的に工夫することが出来る。
	鑑賞の授業での取り組み	鑑賞から得たものを自分の制作に生かすことが出来る。
思考力、判断力、表現力等	アイデアスケッチ	「こんな作品を作りたい」という考えをもって、個性や自分の感性を発揮する。またアイデアを生み出そうと粘り強く考えられる。
学びに向かう力、人間性等	授業中の態度	忘れ物をしない。教師の指示や説明をしっかりと聞くことが出来る。準備と片付けをしっかりと行える。制作中の態度を自分で考え、積極的に表現していくことが出来る。
	制作の計画と進捗	完成までの見通しを立てることが出来る。計画に従い、作品を完成させることが出来る。
	自己評価表	授業を振り返って、自己評価を記入できる。
	提出物	決められた提出日に完成作品を提出出来る。
	鑑賞の授業での取り組み	作品に込めた思いや工夫した点を具体的に伝えることが出来る。友達の作品の良いところをたくさん見つけることが出来る。

3 自主学習のすすめ

・制作が遅れてしまった場合には、自主的に学校や家庭で制作して遅れを取り戻す努力をすること。

・自分の感性を伸ばすためには、色々な場所へ赴き、様々な物事を観たり、聴いたり、体験したりして、たくさんの経験を積むことが大切です。たくさんの経験（記憶）を積むことで、作品制作するときのヒントが増え、より個性豊かで良い作品になります。